

子どもたちがまちづくりを考える

— 令和4年度国見町子ども議会 —



登壇して一般質問をする中野心那議員



開会宣言をする斎藤莉々椛議長



真剣にメモを取る生徒たち

国見町子ども議会が11月2日、国見町役場の議場で行われました。県北中学校3年生の生徒が子ども議長と議員になり、まちづくりに関する質問や提言をしました。

議長の斎藤莉々椛さんが議会の開会宣言をすると、議員席に座る子ども議員の5人は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。町の自然や歴史的建造物の魅力発信、町の農産物を使った加工品の開発や食に関するイベントの開催、観光スポットの在り方や中高生などの若者が楽しめる施設の整備など幅広い質問に、引地町長や担当課長が丁寧に答弁しました。

傍聴した生徒たちも、子ども議員の質問や町からの回答を真剣にメモしていました。

町の将来を担う子どもたちが、まちづくりへの関心を高める貴重な機会となりました。

子ども議長：斎藤莉々椛さん
 子ども議員：佐久間健一さん、中野心那さん
 渡邊愛菜さん、太田瑞生さん
 新開一真さん

みんな学校で学んでみたい！

— 国見小タウンミーティング —

国見小学校6年生を対象にしたタウンミーティングが、11月11日に国見小学校体育館で行われました。

町が取り組む「くにみ学園構想」について、児童たちが事前に考えた意見や要望を発表。児童たちから「自然と触れ合える中庭が欲しい」、「制服はズボンとスカートで好きな方を選べるようにしてほしい」、「保育所から中学校までが一緒に行ける遠足がしたい」など、多くの意見や要望が挙げられると、引地真町長と菊地弘美教育長が、ひとつひとつ丁寧に回答しました。

短い時間ではありましたが、次々に児童たちが発表する様子が見られるなど、くにみ学園に対する興味関心の高さを感じられたタウンミーティングとなりました。



児童たちが「くにみ学園」に対する思いを発表しました



児童の提案に回答する引地真町長（右） 友だちの意見を真剣に聞く児童たち



放課後塾ハルの「テーマ授業」とは？

放課後塾ハルでは、子どもたちの興味関心を広げるきっかけづくりとして、テーマ授業を実施しています。今回は、そのテーマ授業について、詳しく紹介をしていきます！

■テーマ授業とは？

この授業では、身の回りにあるテーマに対して「なぜ」「どうして」という問いをフックに、物事の本質に触れる機会をつくったり、さまざまな見方で物事を捉えて、知らなかった世界に触れるきっかけをつくったりしています。

あくまで、テーマ授業は「きっかけづくり」にすぎませんが、授業を通して、世の中に対するワクワクする気持ちを醸成していきたいと考えています。



■物事の本質に迫る

現在、小学部ではテーマ授業「音楽編」を実施しています。普段何気なく聴いている音楽の歴史をさかのぼり、音楽のルーツをたどっていきます。さらに、音楽とさまざまな分野との関係性をひもとき、音楽についての理解を深めていきます。このようにして、「音楽とは、一体何なのか？」という物事の本質に迫る授業になっています。

■未来を拓くきっかけに

子どもたちには、日々感じる何気ない違和感やワクワクからくる問いを大切にしながら、物事を突き詰めていくプロセスを、この授業を通じて味わってほしいと思っています。あくまでもこの授業はきっかけにすぎません。ただ、この授業が5年後10年後に、子どもたちの未来を拓くきっかけになればと思いながら、日々授業を行っています。

公式noteでは、そんなテーマ授業について、もう少し詳しく掲載しています。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください！



放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email: hokagojuku.halu@gmail.com
 TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442
 ※ 14:00 ~ 22:00 土日祝日、年末年始を除く。